

東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業について



①東京2020オリンピック ハンガリー水泳チーム事前キャンプと成績について



1 キャンプ実績

国のガイドラインに基づいたシーン別の感染症対策を明記した「本市ホストタウン等における選手等受入れマニュアル」等に基づき対策を徹底し、選手団を外部から隔離し、一般の方と接触させないバブル方式によりキャンプを実施。

キャンプ期間中は、選手・スタッフは毎日、関係者は接触頻度に応じてスクリーニング検査を実施し、安全・安心なキャンプとなった。



〔出迎え〕



〔練習風景〕



〔見送り〕

2 大会成績

ハンガリー競泳チーム獲得メダル

氏名	種目	獲得メダル
クリシュトフ・ミラク	男子200mバタフライ	金メダル
クリシュトフ・ミラク	男子100mバタフライ	銀メダル

入賞者一覧

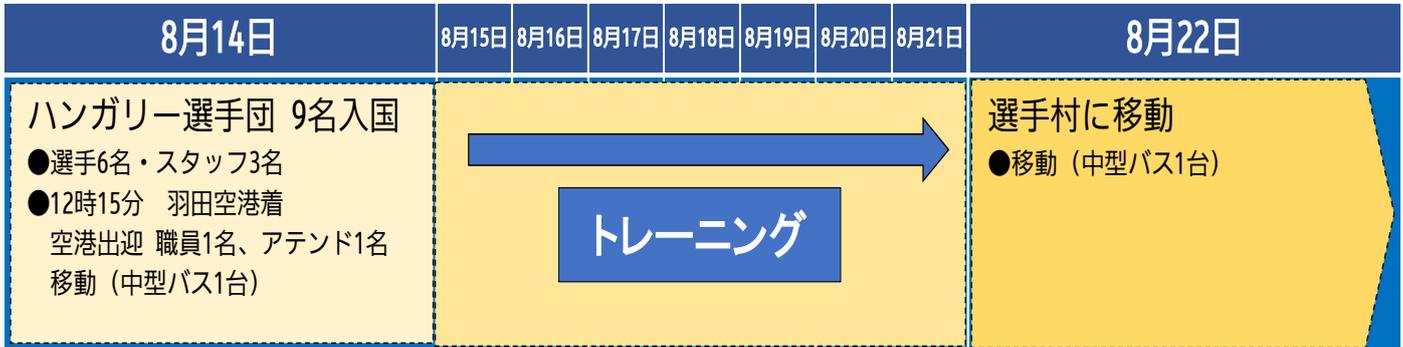
氏名	種目	順位
タマシュ・ケンデレシ	男子200mバタフライ	4位
カパシュ・ボグラルカ	女子200mバタフライ	4位
ダビド・ベラスト	男子400m個人メドレー	4位
アダム・テレグティ	男子200m背泳ぎ	5位
クリシュトフ・ミラク	男子4×100mフリーリレー	5位
セバステイアン・サポー	男子4×100mフリーリレー	5位
リハルド・ポフシュ	男子4×100mフリーリレー	5位
ナンドル・ネメト	男子4×100mフリーリレー	5位
	男子100m自由形	8位
カティンカ・ホッスー	女子400m個人メドレー	5位
	女子200m個人メドレー	7位
ビクトリア・ミハイバーリ ファルカシュ	女子400m個人メドレー	6位
ラースロ・チャー	男子200m個人メドレー	7位

②東京2020パラリンピック ハンガリー水泳チーム事前キャンプの受入れについて

1 キャンプ概要

[期 日]

2021年8月14日（土）～22日（日）9日間



[会 場]

郡山しんきん開成山プール

[選手団一覧]

属性	名 Given Name	姓 Family Name	備 考
選手	FANNI	ILLES	2019世界選手権金(女子100m平泳ぎSB4)
	BIANKA	PAP	2016リオパラリンピック銀(100m背泳ぎS10)銅(200m個人メドレーSM10)
	EVELIN	SZARAZ	2019世界選手権銅(女子100m平泳ぎSB5)
	ZSOFIA	KONKOLY	2016リオパラリンピック銅(100mバタフライS9)
	KATA	PAYER	
	BENCE	IVAN	
コーチ	ARPAD	JANCSIK	
	ALMOS	SZABO	
スタッフ	JANOS	BECSEY	

[練習スケジュール]

プール練習 午前の部 9:30 ~ 11:30
 午後の部 18:00 ~ 20:00
 ジム練習 必要に応じて実施

2 パラリンピック日程

2021年8月24日（火）～9月5日（日） ※水泳：8/25（水）～9/3（金）

3 キャンプ期間中の感染症対策

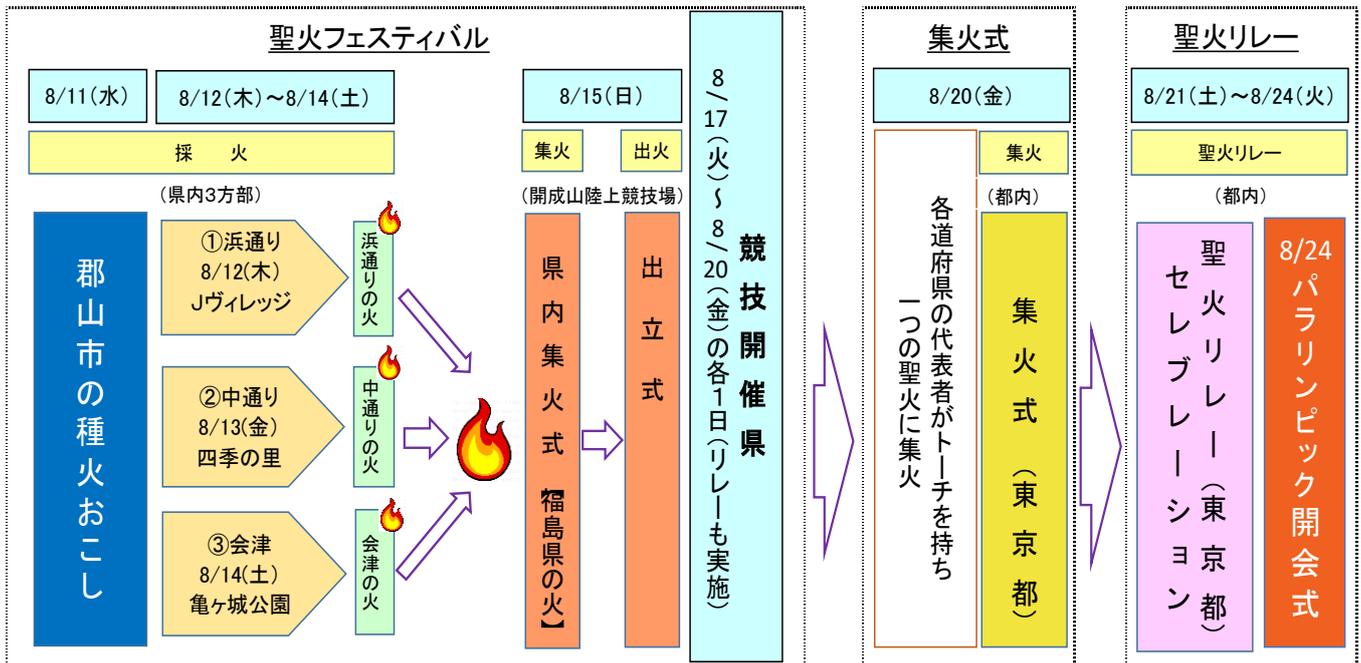
期間中の感染対策としては、国のガイドラインに基づいたシーン別の感染症対策を明記した「本市ホストタウン等における選手等受入れマニュアル」等の作成を行い、それに基づき感染症対策を徹底する。さらに、車いす、杖、義手、補装具等の消毒の徹底や、パラアスリートが利用しやすいように十分配慮する。

③東京2020パラリンピック 聖火フェスティバルについて

1 概要

東京2020パラリンピック聖火は、イギリスのストーク・マンデビル（パラリンピック発祥の地）と全国47都道府県で実施される「聖火フェスティバル」で採火した火を集めて作られる。福島県では、各市町村が種火を起こした後、県内3会場の採火式でそれぞれの種火を集め、「浜通りの火」、「中通りの火」、「会津の火」を作り、その後、県内集火・出立式で3つの火を集めてひとつの聖火（福島県の火）とし、開催都市東京都へ送り出す。

2 全体イメージ



3 本市での種火起こし

【日時】

令和3年8月11日（水） 午前9時15分～10時15分

【会場】

大安場史跡公園

【内容】

聴覚支援学校生徒等が3つのグループに分かれ、舞切り式により種火を起こし、その火を1つの大きな火にまとめ、郡山市の火として採火する。

【特色】

- ①会場で使用する電気の一部は、水素から発電させた電気を使用しCO₂を排出しないクリーンなセレモニーを行い、郡山市が掲げる『SDGsの取り組み』を推進する。
- ②セレモニーで使用する燃料となる木（棒）は再生可能エネルギーである木質バイオマスを使用し、CO₂の増減に影響を与えない『カーボンニュートラルの考え方』を取り入れる。
- ③舞切り式火おこしという古代の技術と水素を利用した近未来の技術の『融合を表現』する。
- ④障がい者と健常者がともに火おこしを行い『共生社会への理解』を高める。

【出席者】

市長、聴覚支援学校生徒8名、宮城小学校児童5名、障がい者総合体育大会出場者3名